製造パフォーマンスと生産性の強化に向けた取り組み
世界中の自動車メーカーがメキシコに工場を設立しており、タチエスメキシコの
ビジネスを押し上げていました。そのためタチエスメキシコは2013年度から次の
2年間で生産数の倍増を予想していました。しかし設備が最適化されておらず、
成長目標を達成することが困難になっていました。「低い効率、多い生地消費
量、品質問題は、過去に弊社が直面していた裁断システムの課題です」と、タチ
エスのカルビージョ工場のマネージャーであるイアン・ドナルズは説明します。
これらの課題に対応するため、タチエスチームは新たな裁断機の購入を検討して
いました。しかしレクトラの考えは違い、現行の生産プロセスを詳細に分析して
改善すべき箇所を特定し、個別にアレンジした改善計画を立てることで、タチエ
スメキシコは新たな裁断機を購入せずとも、運用コストの削減、業務プロセスの
効率化、そしてパフォーマンスの向上が可能だと確信していました。
カスタマイズされたコンサルティングプロジェクトによる
業務プロセスの再設計
「レクトラは、裁断プロセスのノウハウ、自動車部品メーカーに対する業務プロ
セス最適化のコンサルティング経験、また自動車業界の理解も深く、コンサル
䌈鴈꬈너퀈阈갈䤈耈墓ฐ刨ᒔ�懽킄ゅガ懽ꍁ炭‟�つ鵿イアンしていました。メキサタチ

レクトラは、パフォーマンスの最適化と継続的な改善を実現するためのノウハウ
を持っており、個別にアレンジしたコンサルティングプロジェクトによって、レ
クトラの最先端技術の価値を最大限に高めることができます。タチエスメキシコ
は、レクトラのアドバイスに従って業務プロセスの改善を行うことで、無駄な作